

おかざき

市政だより

1991◆10月1日◆No.697



秋の休日、家族で

「スポーツをしたい」

「自然を満喫したい」という人、

オリエンテーリングはいかがですか。

この東公園には、

家族向けのコースもあり、

自然に親しむ

初心者も楽しめます。

売店で地図と磁石を揃えたら、

さあ、スタート。

自然の山野では、

地図と磁石そして体力だけが頼りです。

(九月八日) オリエンテーリング大会



カレンダー 10月1日～31日

1・火	衣替え
2・水	ボランティアバザー(竜美丘会館、10:00～)
3・木	
4・金	市長と話しあう会(大平市民センター、19:00～)
5・土	テレピアおかざき情報フェア'91中学生情報サミット(市民会館)
6・日	
7・月	
8・火	
9・水	
10・木	体育の日、市民体育祭(中央総合公園多目的広場、9:00～)
11・金	
12・土	市役所土曜閉庁日
13・日	健康フェア'91(市民会館、10:00～)
14・月	
15・火	
16・水	市長と話しあう会(矢作市民センター、19:00～)
17・木	フードメッセイン岡崎'91表彰式(竜美丘会館、16:00～)
18・金	統計の日、市長と話しあう会(南部市民センター、19:00～)
19・土	
20・日	
21・月	
22・火	
23・水	
24・木	霜降
25・金	
26・土	市役所土曜閉庁日、三河武士の館家康館特別展(～11月24日)
27・日	歩く文化財・文化碑めぐり(9:00～)
28・月	市長と話しあう会(大門学区市民ホーム、19:00～)
29・火	
30・水	市長と話しあう会(岩津学区市民ホーム、19:00～)
31・木	

■ボランティアバザー…昨年から始まったボランティアバザーが、10月2日と3日の2日間、竜美丘会館で開催されます。このバザーの収益金は、福祉に貢献するボランティアを育成するために積み立てられ、その運用利息は、様々な福祉事業に使われます。身体に障害のあるかたや高齢者、子供たちが安心して暮らせる「福祉のまち岡崎」を目指すこのバザーに、ぜひお出かけください。

■市民体育祭…10月10日体育の日、岡崎市民の体育祭が行われます。会場となる中央総合公園は、元気いっぱい走る子供や、それに負けまいと頑張る大人たちの熱気にあふれることでしょう。スポーツの催しが目白押しこの秋、あなたも何か参加してみたいですか。

■実りの秋…6月に植えたあの小さな苗が、輝く夏の太陽のもとで水をいっぱい吸って、見違えるほど立派な稲に成長しました。重そうな頭を支えきれずに、いっせいにお辞儀をしている様子は、まさに実りの秋にふさわしい光景といえるでしょう。さあいよいよ稲刈りの季節です。

目次

特集「岡崎の重要文化財(建造物)の紹介」…3～7
 まちの話題(9/1～9/15) ……8・9
 まちの特派員だより ……10
 活かす情報 ……11
 よもやま日記 ……11
 市民の広場 ……12～13
 「声」「人」「温故知新」など
 お知らせ ……14～18
 快適環境 ……19
 特別展「浮世絵に見る岡崎」 ……20

市政だより「おかざき」は再生紙を使用しています。

今、岡崎は二十一世紀に向けてまちづくりを進めています。
 矢作川流域の恵まれた自然と徳川家康公生誕の地として知名度も高く、
 古い歴史を反映して、国・県・市の指定文化財は
 合わせて二百五十九件に達しています。
 あなたの家の近くに、古い社寺や史跡はありませんか。
 少し足を延ばせば、歴史に残る
 数々の文化財にめぐり会うことが出来ます。
 あなたの休日のひとときを有意義に過ごし、
 潤いある人生を築くために、
 ふるさとの文化財を
 訪ねてみませんか。

岡崎の重要文化財 (建造物以外)の紹介

今号では、

国の重要文化財に

指定されている建造物を取り上げ、

その保存に尽くしておられる皆さんに

紹介していただきました。

なお、詳しくは、文化財所在地の説明板、

新編岡崎市史（発行・新編岡崎市史編さん委員会）、

岡崎・史跡と文化財めぐり（発行・岡崎市）、

岡崎の指定文化財目録（発行・岡崎市教育委員会）などのほか、

岡崎城・三河武士のやかた家康館・岡崎市郷土館などの展示を参考にしてください。

建造物以外の国指定文化財

平成3年9月現在

種別	名称	員数	所有者
史跡	北野廃寺跡（所在地 北野町）		岡崎市
	大平一里塚（所在地 大平町）		〃
	真宮遺跡（所在地 六名一・真宮町）		〃
天然記念物	岡崎ゲンジボタル発生地（美合・河合地区延長25km）		
絵画	絹本着色善光寺如来絵伝	3幅	妙源寺（大和町）
	絹本着色法然上人絵伝	3幅	〃
	絹本着色親鸞上人絵伝	3幅	〃
	絹本墨画淡彩如意輪観音図	1幅	大樹寺（鴨田町）
	大方丈障壁画岡田為恭筆	47面	〃
彫刻	木造慈恵大師坐像	1軀	真福寺（真福寺町）
	木造観音菩薩・梵天・帝釈天立像	3軀	滝山寺（滝町）
工芸	太刀 銘正恒（付 糸巻太刀拵）	1口	滝山東照宮（滝町）
	太刀 銘長光（付 糸巻太刀拵）	1口	〃
	鉦鼓用引架	1掛	昌光律寺（伊賀町）

岡崎市の指定文化財数

平成3年9月現在

国指定	県指定	市指定	計
24	32	203	259

教育委員会社会教育課文化係 ☎23-6432

だいじゅ じ た ほうとう ちねふだ
大樹寺多宝塔 (付 棟札)

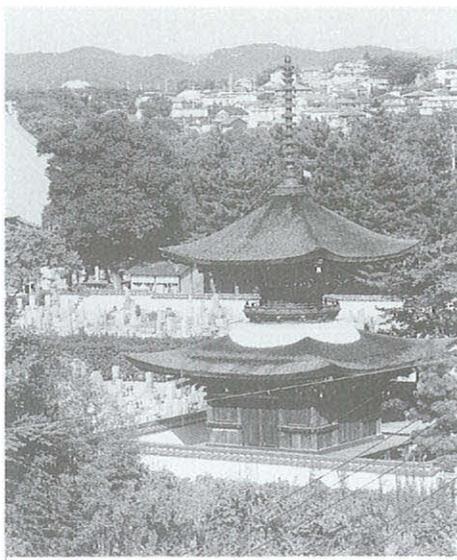


檀家総代
成田敏園さん
 鴨田町 (63歳)

清康の建立です

松平家・徳川將軍家の菩提寺である大樹寺は、様々の伽藍があります。中でも松平七代清康(家康の祖父)が建立した多宝塔は、東海地方で最も美しい多宝塔と言われています。

広い境内には、家康公のお手植えて、大樹寺のしいと呼ばれる市指定の天然記念物を始め、多くの緑が残っています。この



緑と一体となった塔の美しさを守るため、先に市の「ふるさと森」の指定を受け、その保存にも努力しております。

また、この寺はその歴史を物語る多数の文化財を伝えております。特に重文の大方丈障壁画等は大方丈の部屋を模した収蔵庫を造り、参拝者にご覧いただくいております。しかし、本堂に安置されている松平八代の位牌と有名な歴代將軍の等身大の位牌は、場所が狭くて十分供養出来ませんので、靈殿を建立したいと計画しております。

来年は家康公生誕四百五十年です。徳川ゆかりの岡崎にとつて代表的な寺であり、たくさんの方が訪れてくださることを期待しています。

い が こくしよ
伊賀八幡宮本殿、幣殿、拝殿、透塀、御供所、隨身門、神橋、鳥居 (付 宮殿、棟札)

家光の造営です

松平家(徳川家の祖)の氏神として、松平四代の親忠が文明二年(一四七〇)に勧請したものだそうです。現在の社殿は寛永十三年(一六三六)に三代將軍家光により造営されました。本殿、幣殿、拝殿が「エ」の字に続いている権現造りの代表的な建築物です。隨身門前の蓮池に欄干付きの石造そり橋が架かっています。これも重文に指定されています。私も子どもが子供のころ町の古老が石橋の由来について、「太閤秀吉が文禄の役(一五九二年)で朝鮮出兵の折りに朝鮮から持ち帰り、大坂城に築いたが、元和元年(一六一五年)に豊臣氏が滅亡し、その翌年、天下人たる家康も亡くなり、東照大権現となられた家康を祭神として、家光が神域造営の折りに、大坂城から再移築し

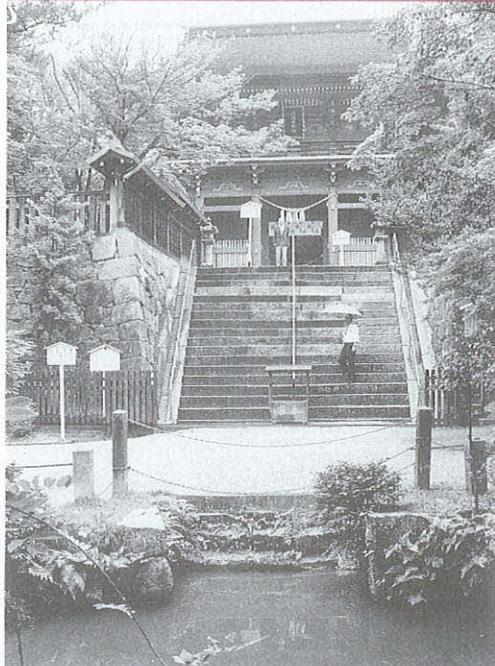


氏子総代
水野昭二さん
 広幡町 (64歳)

た」と語ってくれました。確たる史実は分りませんが、何か真実味を帯びた話です。田岡崎市史を編さんされた名誉市民柴田顕正氏の家系が代々神官をされておりました。昭和四十三年に建築物全体を解体大修理して二十三年余り経ち、屋根等のいたみが目立ってきました。その対応に苦慮しているこのごろです。



六所神社本殿、幣殿、拝殿、神供所、楼門 (付 厨子、棟札)

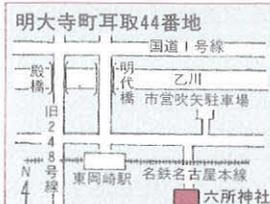


徳川家康が誕生したときに、産土神としての拝礼があったといわれ、寛永十三年(一六三六)三代將軍家光により再建されたもので、歴代將軍家の崇敬も厚かったようです。本殿は昭和五十年に修復工事が完了し、華麗な漆塗りや彩色、美しい彫刻など、建立当時の姿を蘇らせました。神へのお供え物は今はなまものが主ですが、昔は熟饌といって神供所で調理して供えました。今はどなたでも参拝できますが、楼門前の石段から上へ上がることが許されたのは、五万石以上の大名格の人だけに限られたそうです。

家康の産土神です



氏子総代
杉山鏞次さん
明大寺町 (80歳)



上地八幡宮本殿

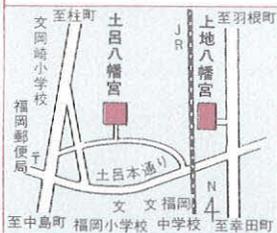
頼朝の弟の造営です

この神社は源頼朝の弟で三河の国司となった源範頼が造営したと伝えられています。その後、一時荒廃したようですが、現本殿は明暦元年(一六五五)に再建されました。建築様式は三間社流れ造りです。ほかの神社と比べ本殿が大きいとひさし下の木鼻の彫り物は龍が多いのに、ここでは象が彫刻されていて珍しいと思います。上地町も宅地開発により人口も急増してまいりました。町民の心の拠り所として守って行きたいと思っています。



氏子総代
宮島伊子男さん
上地町 (67歳)

上地町宮脇48番地



福岡町南御坊山20番地



土呂八幡宮本殿 (付 棟札)

守るのも大変です

三河一向一揆の時、古記録をすべて焼失してしまいました。が、平安末期に創建されたと言われます。一揆により焼失した本殿、拝殿は元和五年(一六一九)幕府の代官畔柳寿学により再建されたとか、家康の命で石川数正が再建したとも言われています。福岡学区の六町内会で管理していますが、火災報知機の更新や放水銃の設置など文化財の保存費用のねん出に苦労しています。



氏子総代
浅井三郎さん
福岡町 (65歳)

たきさんとうしゅうくう

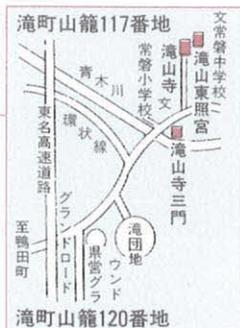
滝山東照宮本殿、拝殿、幣殿、中門、鳥居、水屋 (付 厨子、石柵、棟札)



三東照宮の一つです。正保三年(一六四六)徳川三代將軍家光により造営されました。日光東照宮、久能山東照宮と並び日本三東照宮に数えられています。現在、本殿東に社務所を造っていますが、この辺りは家光自身の社を造る予定地だったそうです。明治初年まで滝山寺が別当職として祭式に当たっていました。神仏分離の大変革により無格社に格下げされ、大正五年に村社格となり常磐神社と呼ばれていましたが、国の文化財に指定された翌年、昔の名前に戻されました。全国の東照宮と連合会を組織して親睦を図っています。東照宮の西奥にトタンで仮被いをした日吉神社も相当古いものだと聞いております。



氏子総代
中根一明さん
滝町(58歳)



たきさんじ 滝山寺本堂



住職
山田光隆さん
滝町(65歳)

滝山寺は今から千三百年余り前に創建され、現本堂は建長六年(一二五四)に修復されたことが記録に残る古い建造物です。ご本尊の薬師如来は五十年に一回のご開帳のとき以外は秘仏とされています。昭和六十三年の開帳時に拝見すると、身のたけ百四十余、専門家の話だと十二世紀半ばころの作だそうです。また、本堂の奥に安置されていた木造聖観音菩薩は、レントゲン写真による鑑定の結果、古記録にあるように頭部に源頼朝のあごひげと齒らしきものが確認されました。宝物殿を建設して梵天、帝釈天立像やその他の貴重な文化財と一緒に収蔵展示しています。これらの仏像は文化庁の依頼を受け、遠く米国、英国、ベルギーなどの展覧会に出品されました。

確認された頼朝のあごひげと齒



滝山寺三門



滝町総代
中根武夫さん
滝町(67歳)

運慶作の仁王像

この三門を私たちは仁王門と呼んでいます。鎌倉時代の建物で、門内の仁王像は運慶の作と言われ、東南の逆さ垂木は有名です。私は、仁王門の前で生まれ、境内や辨形を格好の遊び場として育ちました。大正末だと思いますが、門の南隣の民家から出火し、三軒焼失しました。この火災により門の板壁が黒く焼け焦げ、昭和十年ごろ解体修理されるまで残っていました。今思えばよくぞ類焼を免れたものです。修理のため滞在されていた文部省の技官が、「全国に大きな門はたくさんあるが、この三門のように均整のとれた門はめずらしい」と私の母に話されたのを覚えています。仁王門は私たちの誇りであり、大きな文化財産です。私たちをじっと見守り続け、七百余年の風雪に耐えてこられた仁王さんをこれからもしっかりと守っていきたいです。



みょうげん じやなぎどう ずし しゆみだん
妙源寺柳堂 (付 厨子1基および須弥壇1具)



大和町沓市場65番地

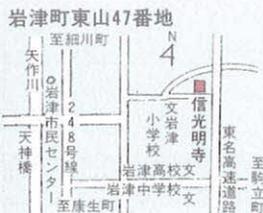


住職
安藤明信さん
 大和町 (51歳)

鎌倉様式の太子堂です

初代の住職が河内国(大阪府)から移住したとき、聖徳太子の木像を納めるために建立された太子堂ですが、堂の前に柳の太木があったところから「柳堂」と呼ばれるようになりました。現在の建物は一三二四年に再建された旨が棟札に記録されています。毎年三月に太子法要を営みますが、昔は近郷、近在から参拝があり、屋台が並ぶほどにぎやかでした。私は現職の教員をしていて何かと忙しいのですが、太子講をつくって復活させたいと思っています。寺の歴史が古いこともあって、貴重な文化財をたくさん所蔵しており、その保存や修理のことでいつも頭を痛めています。文化財の保存には想像以上の経費がかかりますので、公的な補助や支援をもっと増やしていただきたいですね。

しんこうみょうじ かんのんどう
信光明寺観音堂 (付 棟札)



住職
近藤正行さん
 岩津町 (47歳)

近く修理します

信光明寺は松平三代信光により創建された寺として知られています。観音堂は祈禱殿として文明十年(一四七八)に建てられ、甲斐の武田勢に攻められた時も、この観音堂だけは戦火を免れ今日に伝えられました。宝暦のころ、第二十二世の一誉上人が江戸に向かう途次、興津(清水市)で投宿中に病気になり、その地の芭蕉天神にお参りしてもらったらすぐ良くなったのに感激し、天神をここに勧請して一緒に祀りました。柿葺きの屋根や土台が傷んでまいりましたので、この十月から補助金を頂いて大修理します。

生活の中の文化財

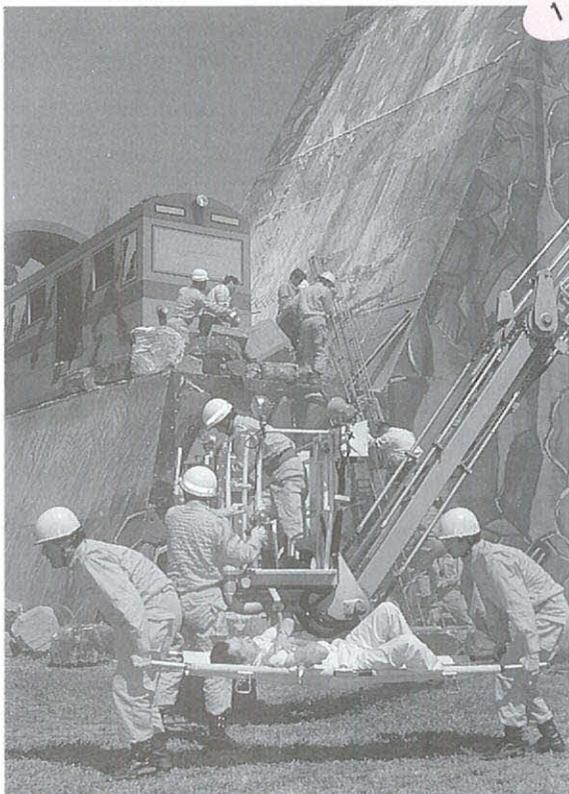


教育委員会社会教育課
上原課長補佐

本市では現在、中央総合公園の美術館・博物館計画のうち、収蔵庫の建設を取り進めています。この施設の大きな使命は、郷土館、森永跡倉庫、市史編さん事務局などに保管している諸資料のほか、個人が所有しておられる貴重な文化財などを様々な環境劣下から防ぎ、市民の共有の財産として子孫に伝えていくことでもあります。さて、今日の急速な社会変化に伴い、余暇時間の増大と人々の学習需要が高まりつつある中で、先人が築いた貴重な文化財や史跡を私たちの生活の豊かさや潤いに生かしていくことが求められています。そこで、本市では文化財保護審議会委員のご指導を得ながら、文化財移動教室の開設や歩く文化財めぐりなどを開催しています。市民の皆さまもこれらの企画に積極的に参加し、ふるさとの歴史とロマンを探究されてはいかがでしょうか。

1日

9.1~9.15

まち
の話題

市民参加の防災訓練

「防災の日」の1日、岡崎公園河川緑地で東海地震を想定した総合防災訓練を行いました。今年は41団体、約4100人の市民が参加。保育園児らの避難訓練や中学生のバケツリレーによる初期消火、婦人団体の応急救護など、36種目もの訓練が展開されました。中でもがけくずれ、高架橋落下及びビル火災の訓練で見せた機敏な行動には、大きな拍手が送られていました。



ラブリバー菅生川を美しく

市の中心部を流れる菅生川をきれいにしようと、地元住民やボランティア団体などが清掃奉仕を行いました。この奉仕活動は昭和41年から始まり、毎年恒例になっています。今年も、朝6時に軍手やかまを持って集まった約2500人の市民が、吹矢橋から殿橋までの兩岸約1*の草刈りやごみ拾いに汗を流しました。集められたごみは収集車など29台分にもなり、清掃後の河川敷はさっぱりとした秋の装いとなりました。



1日

13日



いつまでもお元気で

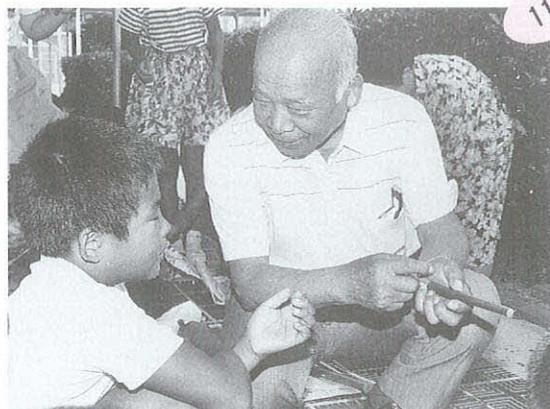
「敬老の日」を前に13日、中根市長や助役らが、90歳以上の高齢者のお宅と高齢者センター岡崎を訪問。色紙やタオルなどを贈り長寿をお祝いました。「テレビを見るのが大好き」という市内最高齢者の横山りやうさん（103歳）は、記念品を手渡されると「これからも健康に気をつけます」と笑顔で答えていました。また、高齢者センター岡崎では、カラオケ大会や市長との会食など、和やかな雰囲気の中で敬老祝賀会を催しました。

暮らしの中からリサイクル

消費生活に関する調査・学習を通して、住みよい生活環境づくりを進めている生活学校の皆さんが中心となり、市内9ヵ所で、天ぷら廃油と天然石けんの交換、アルミ空き缶の買い上げ、ガラス空きびんの回収を行いました。河川浄化、資源の再利用を目的として昭和57年から始まったこの活動も、今では市民に広く浸透しています。今回は廃油1,673ℓ、アルミ缶1,438個、ガラスびん593本も回収できました。



6日



11日

孫と一緒に勉強

孫たちの学校生活を見てもらおうと、奥殿小学校で「祖父母学級」を開きました。敬老の日にちなんだ11年前からの恒例行事で、この日を心待ちにしていたおじいさんやおばあさん約100人が招かれました。孫たちの勉強ぶりを参観し、給食を一緒に味わった後、祖父母が先生になっての体験学習。昔遊んだ水鉄砲や竹馬などの作り方を手ほどきしました。おじいさんたちの笑顔がとても印象的でした。

12日



服のまま泳いでみよう

水難防止への意識を高めようと、竜谷小学校のプールで、4年生以上の児童が参加し「服のまま泳いでみよう」という体験学習を行いました。準備体操をして、いつもどおり水着で25mを泳ぎタイムを測った後、服を着て再度25mを力泳。タイムは20秒近くも遅くなり、途中から歩いてしまう児童も多くいました。「体が思うように動かないね」「浮くだけでも大変だよ」と話し合っていた児童たちには、貴重な体験となりました。

まちの特派員だより

地域の話題を紹介していただく「まちの特派員だより」。
今号は、みんなが心を一つにした大樹寺の大縄跳び大会と、
流域住民の生活のオアシス「伊賀川」を紹介してもらいます。

心を一つに大縄跳び大会

北アロック 竹口多恵さん(鶴田町)

豊かな体力づくりと、コミュニケーションを求め、皆様の町でもいろいろなスポーツ行事が行われていることでしょう。中でも、大樹寺学区で七月に行われた大縄跳び大会は、大いに盛り上がりを見せたので、ぜひ紹介したいと思います。

大縄跳び大会は、多くの子供たちが参加できる行事で、今年で三回目です。学区社会教育委員会と子供会の主催により、大樹寺小学校の運動場で行われます。各町内から低学年男女別に、一チーム十人の四チームが参加します。試合時間三分間のうちに、一番多く跳べた数で競い合うものです。スタートの合図で一斉に跳び始める様子は、静かな湖に急に波がわき立ったような勢いです。

練習の成果を発揮し、歯を食いしばって跳ぶ子供たち、全長十、四、以上もある大縄を精



一杯回す親たち、周りで応援する人々が心を一つにして、「一二三」と声を掛け合う姿は、地域の和そのもので、人と人とのふれあい、助け合いを感じさせられました。未来のまちを築く子供たちが、こうした行事に参加することで、心も体も豊かになることを期待しています。

スポーツの秋、皆様の町でも、ぜひ行ってみてはいかがでしょうか。



学区内を流れる伊賀川をきれいに

城北アロック 高木明治さん(元能見町)

伊賀川は、田口や箱柳の山あい流れ、伊賀を過ぎる辺りから乙川に合流する、長さ約十、メートルの川です。

この伊賀川は、戦後から高度成長期にかけて、家庭污水や工場廃水が流され、ゴミ捨場とされたことでドブ川と化し、流域住民からも嫌われるという状態が、二十数年も続きました。

昭和四十年代に入ってから、昭和四十四年には、各種団体や行政も加わった水質浄化、公害防止運動が起きました。

昭和四十七年には、流域住民が、「伊賀川を美しくする会」を発足し、現在は六学区三十町五千世帯からなっています。この会は、河川流域のバトロールを始め、春秋の一斉清掃、川まつり行事、美化運動看板の設置、啓蒙チラシの配布など、河川美化運動を積極的に推進してきました。



した。その結果、最近では川の汚れも少なくなり、小魚やしじみ、シラサギなども見られるようになりました。

しかし、残念なことに、一部の心ない人によって空き缶などのゴミが投げ捨てられているのが現状です。

流域住民の生活のオアシスでもあるこの川を、だれが見てもきれいで美しいと言われようになりたいものです。

老人性白内障は、眼球の水晶体が白く濁って視力が低下する病気で、六十歳代では七〇〜八〇割、七十歳代以降になると、例外なく水晶体の濁りがあらわれてきます。そして、水晶体の濁りがひどくなり、日常生活に支障をきたすようになると治療が必要となります。

市立岡崎病院では、昨年度中に二百二人が白内障の手術を受けました。

治療方法として、以前は、濁った水晶体を摘出し、めがねやコンタクトで視力を矯正する

象に独自の助成事業を開始することになりました。

対象は、市内に住所を有する六十五歳以上のかたで、所得制限はありません。

助成額は、眼内レンズ購入費と挿入手術費に対して、片眼につき五万円を助成します。なお、今年十月一日からの手術分が対象です。

申請は、手術証明書、領収書、印鑑を持参し、市役所一階援護助成課までお越しください。

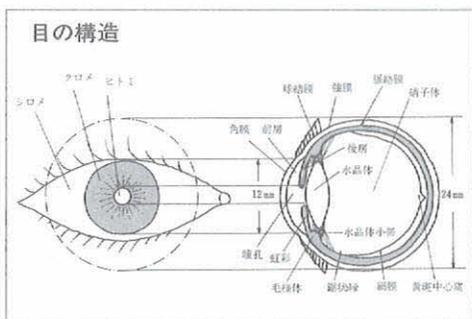
援護助成課医療助成係
☎31-6148

65歳以上のかたに 白内障手術費を助成します。

方法が普及していました。しかし最近になって、眼内レンズ（人工水晶体）を挿入して、視力を回復する方法が多く採られるようになってきました。

ただし、眼内レンズの挿入手術費に対して健康保険の適用がないため、片眼で十数万円かかる費用は全額自己負担となっています。

このため手術費への助成を求め、声が強く、白内障にかかるお年寄りが多いことなどから、岡崎市では、県下の市としては初めて、すべてのお年寄りを対



トイレット・ペーパー文化論

市長 中根 鎮夫

国の発展のバロメーターとして、国民所得、経済成長率、GNP（国民総生産）、人口、更には文化度など、様々な表現があると思うが、そのレベルを論ずることはなかなか難しい。例えば、一昨年の我が国の国民総資産額は六千八百五十四兆円、GNP（三百九十八兆円）と比較して見ると十七・二倍の規模で蓄積が進み、押しも押されぬ「資産大国」になったという見方もある。しかし、我が国は東京二十三区の地価評価額を合計すると米国全土が購入出来るほど地価が高く、これが資産額を持ち上げ必ずしも裕福なあかしであると考えるのは間違いのようだ。

一方、ロンドンの土地は王室や教会などが所有者になっていて、住民はこれを何世紀も前に結んだ長期の貸借契約で借りている。借地料は数世代前の契約なので微々たる額で、あえて払う者も、もらう者も無く、土地は売買や固定資産税の課税対象にされていないようだ。

また、近ごろの文明文化論の中には、欧米文化に迎合しすぎる嫌いがある。例えば来年はコロ



声

牧野弘子さん
(27歳・康生通)



Q
ごみ焼却場の
余熱は
利用できないの。

ごみ焼却場の余熱を利用した温水プールなどがあちこちできています。岡崎の焼却場でも余熱を利用することを考えるべきではないでしょうか。

A
温水を利用した
プールなどの
施設を検討中です。

平成元年から稼働を始めた中央クリーンセンターは、すでに、排ガスの余熱を利用して蒸気タービン発電機を回し、場内の動力、空調、照明や給湯にと、省エネルギーを心がけています。更に将来的には、隣接する中央総合公園の施設に供給していく計画になっています。中央総合公園が市民の積極的な健康づくりの拠点となることをめざし、ご指摘のプールや温水を利用したりハビリティ機能を持つ施設などを含め、今後もさまざまな施設整備を検討しています。同時にどんな施設にどのような形で余熱利用が可能なのか、効率的なのかの研究も進めており、中央総合公園の整備に合わせて一つ一つ実現していく計画です。

中央総合公園事業室 安藤室長



人

世界陸上選手権大会に出場。
千六百メートルで日本新記録。

天野恵子さん
(光ヶ丘女子高校三年)

東京・国立競技場で開かれた第三回世界陸上選手権大会に、県内では高校生としてただ一人選ばれた天野恵子さん。出場した女子千六百メートルではアンカーの大役を見事に果たし、日本新記録をうち立てました。世界大会出場、そして日本新記録おめでとう。

「ありがとうございます。こんな大きな大会に出場できるなんて思ってもいなかったのですが、とても感激しました。緊張はしないほうですが、試合の前日に『アンカーは頼むよ』と言われた時はさすがにドキドキしました。でも、先生から『負けて当たり前前、記録を目標に』と言われ、リラクセスできました。自分の走りができただけが良い結果につながったと思います」

世界の一流選手の印象は。

「テレビや雑誌でしか見たことのないなかつたカール・ルイスと同じ競技場にいる。まるで夢のようでした」

陸上を始めた切っ掛けは。

「背が低かったことが切っ掛けです。小学校まではバスケットボールをやっていました。当

時は今よりもっと小さくて（現在一六六センチ）、シュートも決まらず、悔しい思いをしていました。背が高ければ陸上をしていなかったかもしれません」

「練習は二時間程。基本的なトレーニングを中心に毎日欠かさず行います。時間的には短いです。陸上だけでなく勉強も頑張れ」がクラブのモットーなので、練習後のほうが大変です。今後は。

「陸上を始めてからまだ五年です。先生から『お前は、発展途上人』とよく言われています。来年は大学進学で環境も変わります。少し不安もあります。でも、もっともっと練習して、良い記録が残せるよう頑張りたいです」



岡崎問屋団地

竜美丘ボラ通りの南の端に、二十七社が問屋団地を形成しています。昭和四十八年、三河地区で最初の問屋団地の誕生で、岡崎の卸売業の近代化は大きく進展しました。



昔を語る
近藤 晋さん
(73歳・明大寺町)

昭和四十年ころ、都市化に伴う交通事情の悪化などから、私たち卸売業を取り巻く環境は厳しくなり、営業上に障害が出てきました。そんな中、業務の拡大に伴う店舗拡張や駐車場確保に悩む卸売業者が集まって、昭和四十三年、岡崎問屋団地推進協議会をつくりました。卸売業の近代化・合理化を進めるため、卸売商業集団化計画に取り組んだのです。毎日のように会合を開いて構想を練ったり、先進地を見学したりしました。刑務所の跡地を売却してもらえ話もありましたが、敷地面積や交通条件などを満たす場所は簡単には見つかりませんでした。土地探しに奔走するうち、明大寺町

温故知新

ふるきをたずねて…

79

字大塚地内に用地を確保できるめどが立ちました。

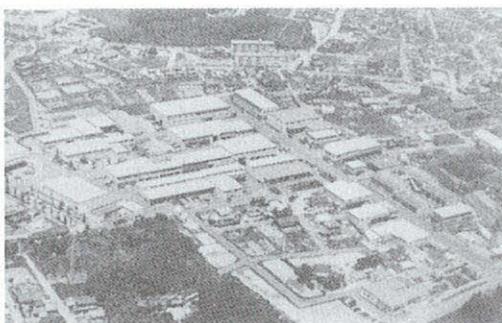
昭和四十四年、岡崎問屋団地協同組合を設立し、土地の取得、造成、そして店舗・倉庫の建設を進めました。造成中に豪雨で土砂が流失する被害などもありましたが、昭和四十八年に団地は完成しました。

この場所はそれぞれの組合員の店からも近く、都市計画道路岡崎環状線、県道岡崎―刈谷線に接し、東名高速道路インターにも近いことから、市内の取引先との連絡や県内外への配送の利便性などとても恵まれた立地環境でした。交通事情や駐車場問題が解消し、倉庫が一カ所に集中したことで営業効率も上がり、売り上げも三割から五割ほど伸びました。

この辺りは、野鳥などが多く住む清閑な住宅街ですが、完成当時は、キジやタヌキや野ウサギなどもたくさんいたものです。団地建設の際には、周りの景観との調和も考え、建物を連

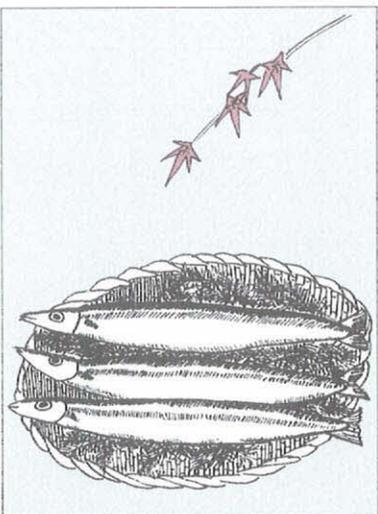
棟式にしたり、看板を自粛したりしました。今でも、団地内の緑化・清掃などに心掛けています。また、地域のかたに団地を知ってもらおうと、年一回、特売会を行ったり、学校のバザーに協力したりもしています。

建設から二十年近くたった今、交通の混雑や量販店とメーカーの直結、流通機構へのメーカーの進出など団地を取り巻く環境は厳しいものがあります。道路網整備への期待は元より、今後、量販店で扱わない商品を取り扱っていくことが、私たち問屋の課題と感じています。



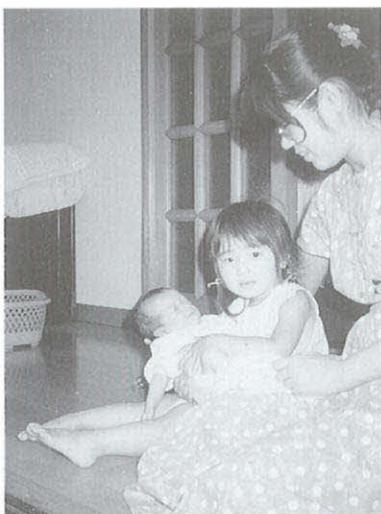
完成した問屋団地(昭和48年)

私のイラスト



三木道子さん(六名新町)の作品

私のスナップ写真



「小さいママ」長女由夏(三歳)。お隣の寿菜ちゃん(零歳)を抱いて、ママ気どりのご満悦。そして「今日も行こう」を連発。新實喜代美さん(32歳・矢作町)

クイズ

問題：国の指定文化財は市内にいくつあるでしょう。 10月15日(必着)

応募方法 はがきに「答」と住所、氏名、年齢、職業を明記のうえ、〒444 市内十王町2丁目9番地岡崎市役所広報課広報係まで。はがきは一入一葉とし、正解者の5名のかたに記念品を贈呈。

前号(9月1日号)の答 9月9日

応募総数は69人で、抽選の結果、渡辺郁子(本宿町)、岡田はるみ(中町)、山岡恵子(朝日町)、本田弘(昭和町)、加藤奈美子(松橋町)の皆さんに記念品をお送りします。

お知らせ

催し講座

スポーツ大会

体育協会 ☎53-7644

総合軟式庭球大会

日時 11月3日(日)

会場 県岡崎総合運動場テニスコート(男子)、岡崎公園テニスコート(女子)

種別 ①男子の部 ②女子の部

資格 市内在住、在勤または在学のかた

申込期限 10月26日(土)

少林寺拳法岡崎大会

日時 11月3日(日)

会場 市体育館

資格 市内在住、在勤または在学のかた

種別 ①小学生低学年白・黄

帯の部 ②小学生低学年緑・茶帯

帯の部 ③小学生高学年白・黄・緑

帯の部 ④小学生高学年茶・黒帯

帯の部 ⑤中学生の部 ⑥高校段外の部

⑦高校有段の部 ⑧小学生女子の部

⑨一般女子の部 ⑩一般段外の部

の部 ①一般有段の部 ②親子の部 ③少年団体の部 ④一般団体の部

申込期限 10月19日(土)

申込方法

所定の申込用紙に必要事項を記入して、〒444 市内六名本町七番地 体育協会「各大会」係まで。
※ 要項・申込用紙は、市役所体育課、市体育館にあります。

歩く文化財・文学碑めぐり

教育委員会社会教育課 ☎23-6437

北斗台から奥山田のしだれ桜を経て、村積山、奥殿陣屋、龍溪院に至る市内北部を散策しながら、郷土の歴史や文化財、文学碑を学習します。

日時 10月27日(日) (雨天の場合 11月24日(日))

集合時間 午前9時

集合場所 岡崎信用金庫岩津支店細川出張所前(名鉄バス「北斗台口」前)

コース 別図の通り。北斗台で解散。

講師 岡崎市文化財保護審議会委員 新家勝吉氏 前岡崎市

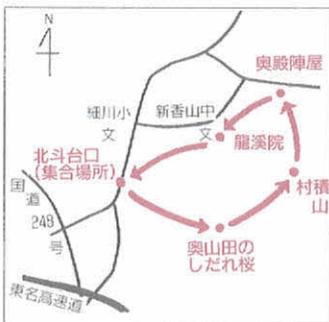
教育委員 糟谷正孝氏

参加料 無料

申込方法 電話で社会教育課文化係まで。

申込期限 10月23日(木)

その他 昼食、水筒、筆記用具を用意し、歩きやすい服装で。



中央市民センター 市民講座

中央市民センター ☎55-8066

「歌謡舞踊」講座

日時 10月22日・29日、11月12日・19日・26日の5回講座(いずれの日も火曜日、午前9時30分～11時30分)

講師 西川流 星野千秋氏

募集人員 25人
受講料 無料

受付日時 10月19日(土)午前10時

「やさしい短歌」講座

日時 10月30日、11月6日・13日・20日・27日の5回講座(いずれの日も水曜日、午後1時30分～3時30分)

講師 現代歌人協会員 斉藤すみ子氏

募集人員 25人

受講料 無料

受付日時 10月23日(木)午前10時

申込方法

それぞれの受付日時に、中央市民センターへお越しください。定員を超えた場合はその場で抽選。なお、電話での申し込みは受け付けません。

一曰スポーツ教室

教育委員会体育課 ☎23-6363

日時 10月10日(体育の日) 午前の部▼9時30分～11時30分 午後の部▼1時～3時30分

場所 市体育館

教室名 ①卓球教室 ②バドミントン教室 ③軽スポーツ教室(トランポリン・マット・び箱など)

参加方法 市民であればどんなでも無料で参加できます。

秋の南公園まつり

- 日時 10月13日(日) 午前10時～午後3時
- 場所 南公園交通広場(若松町)
- 内容 (1)SL及びHSS Tの開放 (2)鉄道と樹木クイズ (3)金魚すくい (4)JRコーナー (5)苗木の無料配布など

ご家族づれで、楽しい一日をお過ごしください。
公園緑地課管理係 ☎23-6257



その他 ①運動のできる服装
室内シューズをご持参ください。
②卓球のラケット、ボール、パ
ドミントンのシャトルはご持参
ください。

福祉入門日曜教室 (介護教室)

福祉課老人係 ☎23-6147

日時 10月20日(日) 午後1時
場所 岡崎市保健センター
対象 お年寄りや体の不自由
な方をもつご家庭などを対象
に介護知識・技術などを身につ
けたいかた
募集人員 40人(先着順)
申込方法 電話または直接、
福祉課老人係まで。
申込期限 10月11日(金)
※ 当日は、公共交通機関を利
用してお越しください。

健康フェア '91



日時 10月13日(日) 午前10時
～午後3時30分

場所 岡崎市民会館

入場無料・参加自由です。
お気軽にご参加ください。

①ホール 開会式(10:30～)、表彰式
(10:45～)、記念講演会(14:00～)

記念講演会(14:00～15:30)

演題 「現代社会と人間関係」

講師 作家・精神科医

なだ いなだ氏

②甲山会館(10:00～15:00) 健康・体
力チェック、高齢者の体力測定、味覚
度テスト、手作りおやつを試食コーナ
ー、栄養バランスチェック、環境衛生
相談コーナー、薬の相談、血圧計・体
温計の無料点検、アルコール体質テス
ト、禁煙相談など

③リハーサル棟 フッソ塗布(就学前
の幼児を対象)・矯正相談・歯みがき教
室(10:00～12:00、13:00～15:00)、成
人歯科相談(13:00～15:00)、健康ミニ
ミニ講座(10:00～12:00)、乳幼児の健
康相談(10:00～12:00)

健康ミニミニ講座(10:00～12:00)

(1)10:00～10:35 「乳がんの話一早
く見つけるために」

市立岡崎病院外科第3部長 大濱寿博

(2)10:40～11:15 「アトピー性皮膚
炎一こんなことに気をつけよう」

市立岡崎病院皮膚科部長 小幡宏子

(3)11:20～12:00 「子供の急病一あ
なたならどうしますか」

市立岡崎病院小児科部長 矢澤 武

司会 市立岡崎病院医局長 石井正大

乳幼児の健康相談(10:00～12:00)

子供の医療について皆で考えましょ

相談員 ◆淑徳大教授 伴正和氏

◆名市大小児科医師 宮田隆夫氏

◆県衛生部技監 北井暁子氏

◆保育園母の会連絡協議会代表、
保母、保健婦

④集会室(10:00～14:00) 健康相談、
ミニドックの結果説明

主催 健康フェア '91実行委員会
(岡崎市医師会館内 ☎52-1571)

募集

平成4年新年交礼会

秘書課庶務係 ☎23-6009
岡崎商工会議所 ☎53-6161

日時 平成4年1月1日 午
前10時30分

場所 岡崎市民会館

新年交礼会名刺帳の申込み

期間 10月11日(金)～31日(休)

申込方法 用紙は市役所秘書
課、商工会議所、各町総代宅に
あります。

会費 1人 四百円

名刺帳「表紙絵」の募集

応募資格 市内在住のかた

画題 来年のえと「申」(本人

の作品に限る)

材料 紙に色彩(油彩、水彩
など、絵の具や色数は自由)を
使って描いてください。

大きさ 縦16センチ、横18センチの枠
内に、絵の周りに2センチ程度の余
白を残して描いてください。

応募方法 1人1点とし、作
品の裏面に鉛筆で住所、氏名、
年齢、職業(学生は学校名・学
年)、電話番号を記入して、〒444

市内十町二丁目九番地 岡崎
市役所秘書課庶務係へ郵送、ま
たは直接お持ちください。

申込期限 11月15日(金)(当日
消印有効)

入選発表 市政だより12月15
日号で発表。優秀作1点を名刺
帳の表紙絵に採用します。優秀
作(1点)と佳作(数点)のか
たには賞品を差し上げます。

※ 応募作品は返却しません。

優良従業員の表彰

商工労政課労務係 ☎23-6351

■商工業優良従業員

工業関係者は10年以上、商業
関係者は5年以上同一事業所に
勤務しているかた(所属する団
体長の推薦が必要)

■技術開発などの功労者

技術並びに製品の研究、開発、
職場の省力化などの分野で顕著
な業績をあげ中小企業の発展に
貢献した従業員のかた(事業主
または所属する団体長の推薦が
必要)

■新聞配達少年少女

中学・高校に在学し、2年以
上市内で新聞配達を続けている
少年少女(店主の推薦が必要)

※ 申込方法など詳しいことは、
10月11日(金)までに商工労政課へ
お尋ねください。

秋の植木展示即売会

■期間 10月6日(日)～11月17日(日)

■場所 岡崎市植木生産協議会展示即売
圃場(大樹寺3丁目)

■展示即売品 サザンカ・カイツカイブ
キなど生け垣用、タマツゲ・サツキな
どの玉物、黒松など仕立物ほか多数

■主催 岡崎市植木生産協議会



農務課園芸係 ☎23-6199

相談・手続き

就学援助制度

教育委員会学校教育課
☎23-6425

お子さんを小・中学校へ就学させるため、経済的理由でお困りのかたに、学用品費や学校給食費などを援助する制度があります。
対象 平成3年度市民税所得割額二万七千円以下の世帯など
※ 詳しくは、お子さんの在学する学校または学校教育課学事係へお尋ねください。

身体障害者巡回相談

福祉課障害係 ☎23-6154

相談科目 整形外科、眼科、耳鼻咽喉科

内容 身体障害者手帳交付の判定と補装具相談

日時 10月22日(火) ●受付

耳鼻咽喉科：午前11時30分、整形外科・眼科：午後零時30分
●診断及び補装具相談：午後1時～3時

場所 福祉の村友愛の家
申込方法 あらかじめ係へ電話予約。

無料
秘密厳守

一日合同行政相談所 くらしと行政よろず相談会

行政相談週間(10月13日～19日)の行事の一環として「一日合同行政相談所—くらしと行政よろず相談会」を開設します。お気軽にお越しください。

日時 10月18日(金) 午前10時～午後3時

場所 市職員健保会館3階体育室(市役所西)

自治課市民相談係 ☎23-6492
中部管区行政監察局 ☎052-972-7415

	相談内容	担当
行政	役所の仕事に対する苦情、要望、意見など	行政相談委員 行政監察局職員 県・市職
法律	法律問題	弁護士
税金	相続税・贈与税など税金のこと	税理士 国税局職員
年金	国民年金や厚生年金のこと	市職員
消費	消費生活についての苦情や相談	消費生活 センター職員
交通事故	交通事故の賠償問題など	交通事故 相談員
建築	建築基準法、建築設計など住まいづくりのこと	建築士
登記	土地や家屋の登記のこと	司法書士 土地家屋調査士
人権	人権問題、心配ごと、悩みごと	人権擁護委員 法務局職員
民事調停	民事関係のもめごと	簡易裁判所 職員
家事調停	夫婦、親子の関係や相談のもめごと	家庭裁判所 職員
警察	迷惑行為、住民の困りごとなど	警察住民 コーナ―職員
農地	農地の売買、貸借、転用などのこと	市職員
申請事務	土地・建設・営業など許可申請	行政書士
住宅融資	住宅資金の融資のこと	住宅金融 公庫職員

国保の人間ドック

国保年金課国保係 ☎23-6169

国民健康保険加入者で35歳以上40歳未満のかたの人間ドックを行います。

検診時期 11月～12月

検診場所 岡崎市医師会公衆衛生センター別館

募集人員 100人

負担額 一万一千三百三十円
(検診料二万二千六百六十円の半額を補助します)

申込方法 国保年金課及び各支所に備え付けの申込用紙、またははがきに住所、氏名、生年月日、保険証記号番号、電話番号、

前回の受診年月日を記入して、〒444 市内十王町二丁目九番地岡崎市役所国保年金課まで。
※ なお、国民健康保険料の未納のないかたに限りです。
受付期間 10月1日(火)～11月30日(土)
※ 現在、大腸ガン検診も実施中です。

国民年金保険料の納付

国保年金課年金係 ☎23-6171

4月から9月分までの国民年金保険料は納付されましたか。納め忘れがありますと、万一のときの障害基礎年金、遺族基

礎年金などが受けられなくなるほか、将来の老齢基礎年金も受けられない場合があります。
保険料は、必ず納期限までに納めることが大切です。
納め忘れの保険料は、すぐ納めましょう。

■保険料の免除制度

収入が少なく生活に困っている場合、または病気やけがなどで保険料を納めることができないかた(第1号強制被保険者に限り)は、免除制度がありますので、未納のままにしないでご相談ください。

国民年金受給者友の会

この会は、国民年金に関する

市民体育祭

■日時 10月10日(体育の日) 午前9時～

■場所 中央総合公園(多目的広場)

今年から会場が、従来の「六名公園」から「中央総合公園」に変わりました。公共交通機関を利用されるかたのために、名鉄バスを臨時増発しますので、ご利用ください。

教育委員会体育課 ☎23-6363

運行系統	東岡崎	明大寺	殿橋	康生町	籠田公園	中伝馬	市役所口	徳王神社前	中町	市民病院	西欠町	東公園口	中央総合公園口	やすらぎ公園
東岡崎発	7:35	8:05	8:35	9:35	10:35	11:35	14:05							
中央総合公園口着	7:59	8:29	8:59	9:59	10:59	11:59	14:29							
中央総合公園口発	10:34	11:34	12:34	14:04	15:04	15:34								
東岡崎着	10:58	11:58	12:58	14:28	15:28	15:58								

運賃(片道)
大人260円
小人130円

10月後期

粗大ごみと使用済み乾電池の収集

中央クリーンセンター ☎22-1153

● 各町で決められた粗大ごみ持ち寄り場所へ、収集日の午前8時30分までに持ち出してください。

〈出してはいけない物〉

事業系ごみ、タイヤ、バッテリー、プロパンボンベなどの危険物

収集日	収集町名
16日(水)	両町、中5丁目・7丁目、上中、中大門
17日(木)	中本町、中4丁目、東中、南小呂、小呂、中天神
18日(金)	東明大寺北、東明大寺南、東明大寺東、竜美旭町、島町、唐沢、菅生
19日(土)	栄、朝日
21日(月)	明大寺本、学校東、西明大寺1区～3区、南明大寺3区・4区
22日(火)	上明大寺、宮前、宮東、山手1区～3区、吹矢
23日(水)	伊賀南1区～6区、能見通1丁目、能見中、能見北、東能見
24日(木)	伊賀南7区～9区、六供本、元能見南、元能見北、元能見中、葵町
25日(金)	日名本、日名西北町、日名南
26日(土)	西六供東、西六供西、西六供南、西六供北、松本
28日(月)	伊賀北1区～6区・8区、広幡、柿田、伊賀新
29日(火)	福寿、井田新、井田南、井田西、錦町、日名中
30日(水)	鴨田1区～5区、百々1区、大樹寺1区・2区
31日(木)	百々2区・3区、堂前

受給者友の会岡崎支部事務局 (岡崎社会保険事務所内 ☎23-2515) または、市役所国保年金課年金係まで。

知識や情報を得たり、いろいろな催しに参加して会員相互の親ばく、交流を図るとともに、教養や趣味を深め生きがいのある楽しい老後を目指します。あなたも参加してみたいかがですか。

● 会員の資格 国民年金制度の老齢・通算老齢年金、または老齢基礎年金を受けているかた
会費 年額二千四百円(入会金は要りません)

● 特典 ①「友の会ニュース」をお届けします(年4回) ②「会員の集い(観劇会、ふれあい旅行、各種講座など)」に参加できます。

● その他 詳しくは、国民年金受給者友の会岡崎支部事務局

知知識や情報を得たり、いろいろな催しに参加して会員相互の親ばく、交流を図るとともに、教養や趣味を深め生きがいのある楽しい老後を目指します。あなたも参加してみたいかがですか。

その他
の情報

「パースントリップ調査」にご協力を

県土木部都市計画課 ☎52-961-2111 (内線2664)

県では、建設省などと中京都市圏総合都市交通計画協議会を組織し、10月～11月に「パースントリップ調査」を実施します。

この調査は、生活の中で、鉄道、バス、自動車、自転車などの交通手段がどのように利用されているのかを調べ、総合的な交通計画や身近なまちづくりに役立てるためのものです。無作為に選んだ各家庭に調査

員が訪問し、調査票を配付、後日回収に伺いますので、ご協力をお願いします。

東名高速道路「夜間通行止め」のお知らせ

都市計画課街路係 ☎23-6251

通行止め区間 名古屋インターから岡崎インターまで

日時 「10月12日(土)午後6時～13日(日)午前7時」と「13日(日)午後6時～14日(月)午前7時」
※ ただし、荒天順延。

赤い羽根共同募金にご協力を

岡崎市共同募金委員会 ☎23-8705

10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。

10月はクリーン排水推進月間

環境課環境保全係 ☎23-6188

生活排水が河川の汚れの大きな原因になっています。そこで、皆さんの家庭でできる生活排水対策をあげてみました。

■台所では：調理くず、食用廃油を流さない

・流しに細かい目のストレーナー、三角コーナーや水切りネットを備えましょう。

・汚れのひどい鍋や食器はへらでかき取ったり、紙でふきとってから流しましょう。

・調理くずはよく水を切ってからゴミに出しましょう。庭や畑に埋めれば肥料になります。

・使用済みの天ぷら油は、古新聞やボロ布などに吸わせるか、市販の凝固剤で固め、処理しましょう。また、天然石けんづくりの原料にすれば、資源の再利用に役立ちます。

・天然石けんか無リン洗剤を計量カップで正しく量って使いましょう。

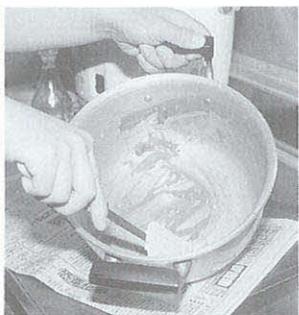


■浄化槽やトイレでは：正しい維持管理

・専門業者に委託して、定期的に点検や清掃をしましょう。
・便器の清掃には薬品を使用しないようにしましょう。

■家の周囲では：一斉清掃

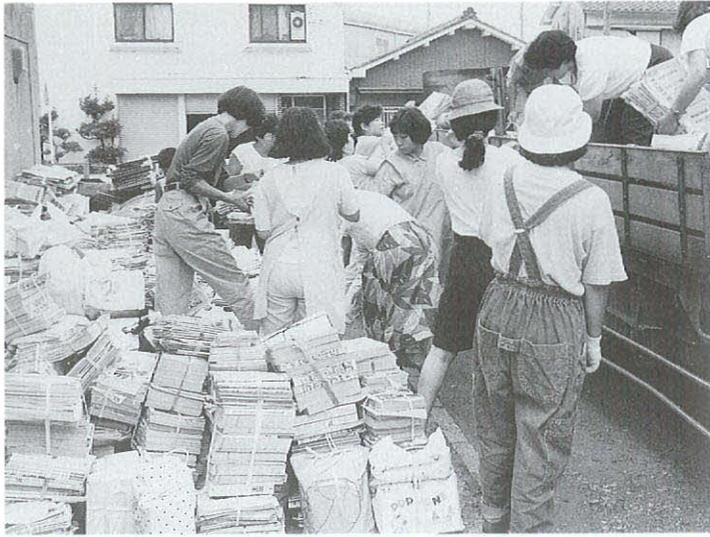
・みんなが協力しあい、定期的に側溝や排水路などの清掃をしましょう。



■洗たくでは：洗剤の適正使用



・風呂の残り湯を洗たくに使いましょう。



資源回収は、 ごみ減量の救世主。

昨年度中に、皆さんのご家庭などから出たごみの量は約十万五千ト。そのうち、市が直接収集したごみの量は約八万五千トにもなりました。

「ごみの増加を食い止め、更には、ごみを減らすことはできないのか」。この難問を解決する手がかりとして、いま、注目されているのが「資源回収」です。

昨年度、皆さんが資源回収に持ち寄った資源ごみが、四十一学区合計で八千八百ト。空きビンも五万三千本が回収されました。これは、市が直接収集したごみの量の一割強に当たります。皆さんのご協力によって「ごみの減量化・再資源化」が確実に進んでいることが、この数字

からもよく分かります。ご協力ありがとうございました。

そこで市は本年度、資源回収を積極的に応援し、より一層「ごみの減量化・再資源化」をはかるため、補助金を資源ごみ一ト当たり三百円、空きビン一本当たり三円と、今までの三倍に増額しました。そして、この補助金を地域のコミュニケーションづくり役に役立てていただければと考えています。

ごみを増やすのも減らすのも最終的には、私たち自身です。捨てればごみ、生かせば資源。「ごみだからポイ」ではなく、「このごみは資源回収に」。こんなちよつとした暮らしの中での気配りから、ごみの減量は始まります。

資源ごみ

- 新聞紙・雑誌・ダンボール類
- ビールビン・コーラビン(大)
- 衣類・化繊類(紡毛は除く)
- アルミ缶・鉄骨類 など

資源ごみではないもの

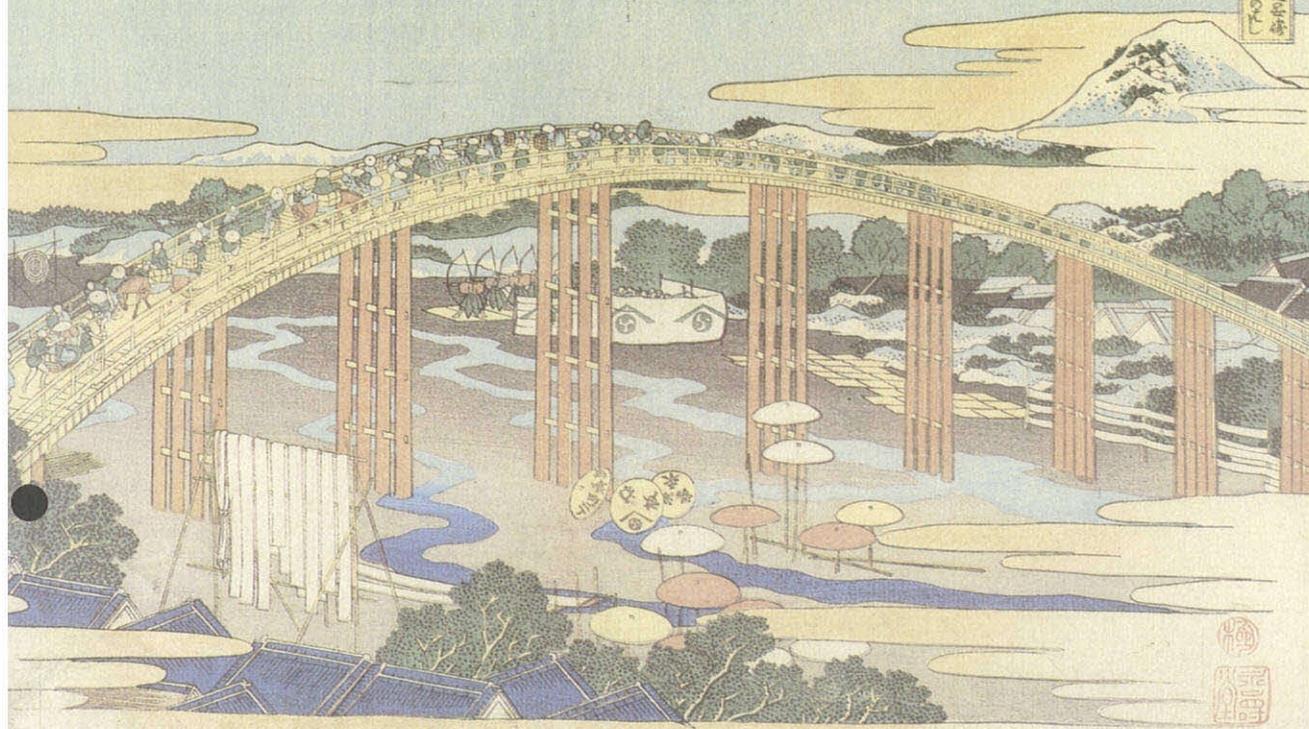
- 自転車
- 家庭電化製品 など

小さな気配りで大きな成果。

衛生課 ☎23-6205
 中央クリーンセンター ☎22-1153
 一般廃棄物最終処分場 ☎46-2866

快適環境

ごみを考える 13



「諸国名橋奇覧・東海道岡崎矢はぎのはし」北斎
手前の川原では布地や傘が干され、向こう岸近く
では武士が弓を引いている。

特別展

浮世絵に見る岡崎

北斎、広重の東海道五十三次をはじめ、
多くの絵師が岡崎をモチーフにして描いた
浮世絵を集めて展示します。

江戸時代の岡崎を視覚的に理解し、
浮世絵芸術の魅力に触れてください。

前期展示期間

10月26日(土)～11月10日(日)

後期展示期間

11月12日(火)～11月24日(日)

入館時間

午前9時～午後4時30分

入館料

大人(中学生以上)三百円

小人(五歳以上)百五十円

(30人以上は団体割り引きあり)

三河武士のやかた家康館

☎24-2204